
「胸部食道癌術後における早期離床の妨げとなる有害事象の調査」に関するお知らせ

このたび、胸部食道癌と診断され、手術を実施した患者さんを対象とした以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、胸部食道癌と診断され、手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院では術後抜管してから病棟に帰室し、数日間 HCU 内にて経過観察を行い、術後 1 日目から離床を目指してリハビリテーション行っています。しかし、HCU 内にて早期離床が行えていないことがしばしば見受けられます。今回、胸部食道癌術後 1 日目から離床できなかった患者さんの割合と妨げになった有害事象を調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、1 ヶ月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテより患者背景：年齢、性別、身長、体重、既往歴（心疾患、肺疾患、血管疾患など）、手術歴、他の悪性疾患の有無、フレイル（Frailty）

術後 24 時間以内に車椅子または歩行が出来なった患者さんと要因、せん妄の有無、疼痛の有無程度 NRS (Numerical Rating Scale)、バイタルサインを収集します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である梅木大樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

胸部食道癌と診断され手術された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター	D 棟 4 階 HCU	梅木 大樹（研究責任者）
埼玉医科大学国際医療センター	D 棟 4 階 HCU	滝本 杏奈
埼玉医科大学国際医療センター	D 棟 4 階 HCU	土屋 儀志子
埼玉医科大学国際医療センター	消化器外科	佐藤 弘

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

5. 試料・情報の提供方法等について

埼玉医科大学国際医療センター第 18 回院内看護研究発表会において発表し、得られた結果について共有し、今後の看護に役立てます。本研究の結果について研究対象者への報告はしません。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター D 棟 4 階 HCU 梅木 大樹

住所：埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4432

○研究課題名：胸部食道癌術後における早期離床の妨げとなる有害事象の調査

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター D 棟 4 階 HCU 梅木 大樹